

INDEX

- ・若尾会会長・学校長ご挨拶 他 1
- ・学園の歩み・新委員紹介 他 2
- ・総会のお知らせ・行事報告 他 3
- ・卒業生の進路・決算報告 他 4

会長挨拶



若尾会会長
中津 早苗
(一九八八年卒業
英文科)

日頃より若尾会活動にご協力いただきありがとうございます。

3月のやわらかな陽が差すなか、今年も前田ホールにて卒業式が挙行され普通科71期生235名を若尾会会員としてお迎えいたしました。

新卒業生の皆様、若尾会入会おめでとうございます。元号は平成から令和に改められ、来年には東京オリンピックが開催されます。経済をはじめ、取り巻く環境の変化が著しいこれからの社会を生きる女性として洗足学園で6年間を過ごした皆さんは、どの顔も自信にあふれ頼もしく思えました。これからも不易流行の気持ちをもってどんな挑戦を続けてください。

さて、すでにお知らせをしておりますが、今号11号よりネット環境での閲覧をお願いすることとなりました。また、住所・姓名などの変更は今まで通り会員皆様からのお手続きをもちまして更新となります。どちらも若尾会ホームページからご利用いただけますので、よろしくお申し込み申し上げます。最後にになりましたが、このように若尾会の活動が充実しておりますのも、宮阪校長先生をはじめ、学園関係者皆様のご協力のおかげです。あらためて感謝申し上げます。

今後も会の発展に尽力し活動をしてまいりますので、何卒よろしくお申し込み申し上げます。

学校長挨拶



校長
宮阪 元子

235名の生徒が学園を巣立ち、256名の新入生が学園の門をくぐり、新たな年度がスタートしました。春休み中は、生徒の姿があまりなくて、少し寂しい校舎でしたが、新年度の始まりとともに生徒たちが戻ってきてくれて、一気に明るくなりました。先生たちも、嬉しそうで、いきいきとしています。学校は生徒がいてこそ場所なのだと思えます。

それは、卒業生が帰ってきてくれたときと同じです。若尾会主催の「成人を祝う会」は、振り袖を着た大勢の卒業生が集まり、例年華やかに開催されます。会場の力

フェテリアは1年で一番賑やかな時を迎え、まぶしいぐらいにキラキラ輝きます。先日は、25歳の卒業生たちが、四半世紀ということで集まりました。私自身が入学から卒業までの6年間をずっと一緒に過ごした卒業生たちでしたので、懐かしさもひとしおです。就職して数年が経ち、仕事も波に乗ってきたところということもあり、颯爽とした様子で仕事の話をしてくれる姿は、とてもかつこよく、ほれぼれとしました。その中の1名は、本校の教員として生徒たちの指導に力を注いでくれています。

また、30歳の卒業生たちの集まりもありました。カフェテリアの一角にウレタンを敷き詰め始めたので、何のためなのかしらと考えていたところ、次々とかわいらしい赤ちゃんが登場して、あつという間に賑やかなスペースとなりました。聞いてみると、多くの卒業生が育児休業中とのことでした。「育児休業が明けたら、すぐにまた仕事に復帰します。」と答える様子には母としての自信も垣間見えました。この代の中にも、本校の教員として活躍している卒業生がいますが、彼女も育児をしながら教員としても立派に貢献してくれています。この代の生徒とは授業では関わる事ができませんでしたが、顧問として関わった部(剣道部です)の卒業生たちがそろって挨拶に来てくれたときは、当時と変わらない明るさのままだ、でも、美しさが増した様子に感動しました。その美しさは内面から出てくる美しさでした。育児をしながら働き続ける卒業生がここ数年で格段と増えたように感じます。卒業生の皆さんの活躍は、在校生たちの大なる励みとなります。日本は新しい時代を迎えました。洗足学園の卒業生にとっても、活躍の場がますます広がることを願っています。若尾会の皆さんが日本中、世界中(もしかしたら宇宙も?)で活躍することを心から応援しています。

The Art of Loving

山元惣一郎 教科：英語



「Claireは93歳。夫Haroldの話をすると目が輝く。しかしその夫はもうこの世にはいない。それでも、それはかまわない。人生とは永遠に続くものではないということを受け入れることだから。

亡くなってどれくらい経つのですか、と聞くと『60年近くになる』という答え。事故で35歳の時に先立たれた。結婚して5年、子どもが二人という時だった。つらい日々が続いたが、この世にはいないけれど、そばにいてくれるとわかっていただけ乗り越えることができた、という。

『再婚しなかったのですか』と尋ねると、『夫は完璧だった。他に夫を求める必要なんてなかった』という答え。『結婚してわずか5年で、子どもが二人残されたら、普通はとても辛いと思うはずなのに、どうしてそんなに幸せなのか信じられない』と言うと、次の答えが返ってきた。

“How could I possibly be bitter? At one time in my life, I had something that women search their entire lives for, and many never find: true love. I would have been happy with a single day, but I had it for five entire years! How could I be anything but thankful?”

どうして辛い思いになれるでしょう。わたしの人生のある時、女性が生涯求めて、その多くの女性が手に入れることができないものを、わたしは手にしていたから。True loveです。True loveであればたった1日でも幸せなのに、わたしは5年も一緒だった。感謝するしかありません。」

洗足で過ごした30年間、英語の授業であるいはホームルームでこのような話をしてきました。よく自身はProfessor of loveになることが夢であると語ってきました。また卒業生の結婚式では必ずと言っていいほど、次のある男のエピソードを伝えてきました。

「妻とフィラデルフィアにいた頃、SUCCESSFUL MARRIAGEと書かれた広告が目にとまった。それには夫婦がお互いに必ず言うべき言葉が書かれていた。

まず、“You look great.”(今日もきれいだね)

次に“Can I help?”(手伝ってあげようか)

そして“Let’s eat out.”(たまには外食もいいですね)

第4は“I was wrong.”(ぼくが悪かった)なかなか言えない言葉です。

第5は“I am sorry.”(けんかしているときに意地を張っていると言えないものですが、素直に謝りましょう。

そして最後に最も大切な言葉 “I love you.”

これを守れば結婚はうまくいきますよ、と結ばれていて、私たち夫婦はそれを守り、すばらしい結婚生活を送ることができた。二人が過ごした月日は53年と2ヶ月と5日。妻はもうこの世にはいないけれど、神様の庭で必ず探し出して、まずこう言うつもりだ。“And the first thing I’m going to do is ask her if she would marry me, and do it all over again.”」

工業化学から英米文学へと180度の転換をした10代、英語ニュースライターから都立高校教員へと転職した20代、都立高校から洗足へ転職した30代、そして30年余りを過ごした洗足に一応のサヨナラ。洗足での30年はたくさんの思い出であふれています。すべて卒業生に感謝です。これから70代、80代になっても「生きていてよかった」と思える人生を過ごしていく、そのためにも、どんな小さなことでも覚えていて、愛する人たちのために生きていければと思います。人生で大切な4つのL—Live, love, learn and laughを心で唱えながら、そして洗足での日々心から感謝しながら。

⑤ 洗足学園中学高等学校の歩み

1923年 大正12年	前田若尾先生が東京府荏原郡平塚村（現・品川区小山）の私邸に夜間の裁縫塾を開く。
1924年 大正13年	私邸敷地内に校舎を建設し、平塚裁縫女学校開校。
1926年 大正15年	洗足高等女学校を東京府荏原郡碑衾村に開校。平塚裁縫女学校も同場所に移転。
1928年 昭和3年	平塚裁縫女学校を洗足裁縫女学校に改称。
1936年 昭和11年	洗足裁縫女学校を目黒家政女学校に改称。
1945年 昭和20年	5月24日 東京空襲によって全校舎焼失。
1946年 昭和21年	目黒家政女学校廃止。生徒編入もあり、洗足高等女学校の生徒数は606名となる。同年、溝ノ口校舎への移転を開始。校舎は軍用レンズの工場跡で、終戦直後の荒れようがひどく、職員と生徒で鍬をふるい、机や腰掛は廃物利用をする状態であった。
1947年 昭和22年	洗足学園女子中学校を開校、第一期生として153名入学。 10月6日 学園創立者前田若尾先生ご逝去。11日に校葬が行われた。
1948年 昭和23年	洗足学園女子高等学校を川崎市久本290番地に開校。 目黒区に洗足学園第一高等学校を開校。
1953年 昭和28年	洗足学園女子中学校を洗足学園第一中学校に改称。 川崎市久本290番地に洗足学園第二中学校を開校。 洗足学園女子高等学校は洗足学園第二高等学校に改称。
1976年 昭和51年	第一高等学校・同第一中学校を洗足学園大学附属第一高等学校・同第一中学校に改称。 第二高等学校・同第二中学校を洗足学園大学附属高等学校・同中学校と改称。
1979年 昭和54年	洗足学園大学附属第一中学校廃止。
2000年 平成12年	洗足学園大学附属高等学校・同中学校新校舎完成。
2002年 平成14年	洗足学園大学附属高等学校・同中学校を洗足学園高等学校、同中学校と改称。 洗足学園大学附属第一高等学校を洗足学園第一高等学校に改称。
2008年 平成20年	洗足学園第一高等学校を廃止。



1940年 校門の前で 前田若尾先生



東京空襲で全焼した校舎跡地



ペナント



1929年制定の制服



1949年制定の制服



1927年頃



1949年頃



1960年頃



平塚裁縫女学校校舎



1940年 洗足高等女学校校舎



1948年竣工 目黒復興第1期校舎



1957年竣工 目黒第1期鉄筋コンクリート建校舎



1969～71年
学園祭パンフレット



1965年 第一高校舎



1980年 第二高校舎

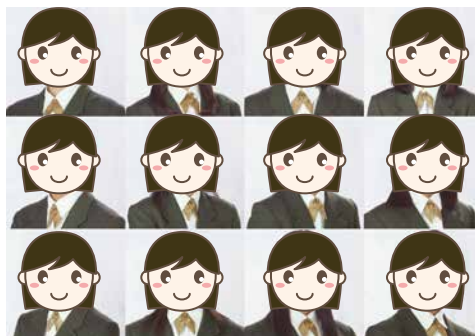
洗足学園創立百周年記念館開設に関わる 資料のご提供・ご寄贈のお願い

学園では創立百周年（2024年）に向けて、洗足学園百周年記念館開設（既存の建物の一部改装）を計画しております。皆様のお手元に学園記念の品や思い出の品等ございましたらご提供いただけましたら幸いです。

連絡先 洗足学園百周年記念館 木曾 正之 044-856-2711

若尾会新委員代表挨拶

ご来賓の皆様、先生方、保護者の皆様、そして在校生の皆さん、先日は私達の門出を祝福して頂き本当にありがとうございました。卒業後、目まぐるしく周りの環境が変わる中で、洗足での6年間でどれ程貴重で、どれ程有意義なものであったかを痛感しています。友人と切磋琢磨し合いながら、勉強はもちろん文化祭や体育祭などの行事や部活に至るまで全力で取り組めたことは、私達にとってかけがえのない宝物になりました。それが可能になったのも、保護者の皆様をはじめとする周りの方々のサポートがあったからだと思います。特に、入学時から私達を見守ってくださった学年主任の田中安子先生には、感謝してもしきれません。最後まで私達を応援し、支えてくださって本当にありがとうございました。この春から私達は、各々違う道へと進んでいます。困難な道を選んだ人もいれば、新しい環境に戸惑っている人もいるでしょう。しかし、私達が洗足生であることに変わりはありません。大切な仲間と出会ってくれたこの学校に感謝し、洗足の名に恥じぬよう、それぞれ自分の夢に向けて努力し続けたいと思います。（71期 角野ゆうな）



若尾会新委員紹介

第20回 洗足学園ジュニア 音楽コンクール



和田那月さん

吉村妃鞠さん

若尾会音輪会賞受賞者は弦楽器部門で吉村妃鞠さん（小1）、ピアノ部門で和田那月さん（高2）でした。

2019年度 若尾会総会のお知らせ

※出席連絡は下記の若尾会メールまで「卒業年度・科／氏名／住所」を **8月2日(金)まで** に送信下さい。

wakaokai@senzoku-gakuen.ed.jp

日時 2019年9月14日(土) 10:30～

場所 洗足学園音楽大学キッズスクウェア視聴覚室

会費 500円(茶菓子・茶付き) ※当日にお支払いいただきます

議題 2018年度事業報告、会計報告・2019年度事業計画案 他

終了後、卒業生会員によるミニコンサートを開催します

大学3年生／大学院1年生の若尾会員と保護者を対象に

9月14日(土) 就活セミナーを開催します

日時 2019年9月14日(土)
13:00に開始予定

場所 洗足学園キッズスクウェア(予定)

対象 洗足学園卒業生で
大学3年生・大学院1年生
(2016／2014年度卒業生)と、
その保護者

主催 洗足学園中学高等学校、
若尾会、賛助会

協力 洗足会、洗足会 Fathers'



毎年好評いただいております洗足学園卒業生向けの就活支援セミナー、今年は2021年4月の就職を目指す大学3年生・大学院1年生を対象に、2回に分けての実施です。

45名が参加した1回目(3月9日)では、就活全体を概観し、心構えとともに服装・メイクのアドバイスをしました。

2回目は洗足祭の初日9月14日に実施します。最近就職した洗足学園の卒業生や在校生・卒業生の父母をお招きし、就活の進め方の実際、自分の将来像の描き方など、具体的な相談が出来る場を作ります。ここでしか聴けない話が満載のイベントですので、洗足祭の見学かたがたご来場ください。

詳しくは **洗足学園中学高等学校公式ホームページ** をご覧下さい
<http://www.senzoku-gakuen.ed.jp/> 洗足学園

若尾会 行事報告

2016年度卒業生の **成人を祝う会** が、
2019年1月14日(月・祝)に開催されました。

卒業から早2年。私たちは人生の大きな節目を大切な母校で迎えることができました。多くの仲間が集い、懐かしくとても心地のよいひと時を過ごしました。これから成人として各々の道を自ら選び歩んでゆくこと、刺激し合うことができる仲間が確かにいること、応援してくださる方々がすぐ側にいること、改めてたくさんの喜びを感じる幸せな時間でした。この度、成人を祝う会の開催にご尽力くださいました全ての皆様に、心より感謝申し上げます。今後とも、ご指導ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願い致します。
(69期 新成人代表 平松由希子)



予告 2017年度卒業生の「成人を祝う会」2020年1月13日(月・祝)
〈2018年3月卒業生・普70期〉 対象となる卒業生には別途通知いたします。

2006年度卒業生の **三十歳の会** が、
2019年2月24日(日)に開催されました。

2月24日(日)カフェテリアにて、2006年度卒業生による「三十歳の会」をおこないました。多くの卒業生とお世話になった先生方が集い、思い出話に花が咲き、大変賑やかな会となりました。

準備や当日の運営など、多くの方にお手伝いいただきました。この場を借りてお礼申し上げます。ありがとうございました。

(59期 幹事一同)



予告 2007年度卒業生の「三十歳の会」2020年2月16日(日)
〈2008年3月卒業生・普60期〉 対象となる卒業生には別途通知いたします。

若尾会・音輪会の生涯学習開催報告

日本の伝統(雅楽の調べと舞)と加賀料理を楽しむ会を2018年10月28日に開催いたしました。始めに福田若尾会副会長より挨拶があり、次に中村音輪会副会長から故澤田若尾会副会長が立ち上げた今回の会を無事に開催出来たことの喜びと感謝の言葉がありました。島田教頭先生のご挨拶後、雅楽鑑賞が始まりました。管絃は越天楽と陪臚が演奏され、舞楽は賀殿と抜頭が舞われました。舞われた1人がピアノ科卒業生であり感動的でした。その後加賀料理を堪能し、植田事務局長、大学ピアノ科の三瓶教授よりお話があり、最後に幅若尾会副会長の締めの言葉で終了いたしました。(音輪会 演奏委員長 坂田千雅子)



2018年度 若尾会総会報告

去る9月15日に大学キッズスクウェア視聴覚教室にて若尾会総会を開催。中津会長によって開会の挨拶が述べられ、学校長 宮阪元子先生のご挨拶をいただきました。まず2017年度の事業報告、決算報告、会計監査報告があり、承認されました。その後、2018年度事業案、予算案も大多数の拍手を頂き承認されました。次に新常任理事として飯田萌子（2012年度卒）の就任を承認、顧問は教頭 田中友樹先生、教頭 島田芳恵先生、校務主任 玉木大輔先生をお願いをいたしました。

2017年度事業報告	①定例会	②名簿作成及び訂正作業継続	③入学式出席
	④高校3年生若尾会入会の案内及び新役員選出について依頼	⑤体育祭出席	⑥若尾会奨学金授与選考結果承認
2018年度事業案	⑦会報第9号発行	⑧若尾会定期総会	⑨洗足祭出席
	⑩墓前祭出席	⑪第19回洗足学園ジュニア音楽コンクール後援	⑫生涯学習による「ドイツ・オーストリアの民族音楽と料理を楽しむ会」
	⑬2015年度卒業生の成人を祝う会	⑭2005年度卒業生の三十歳の会	⑮卒業式予行出席記念品贈呈 及び 挨拶
			⑯卒業式出席
	①定例会	②名簿作成及び訂正作業継続	③入学式出席
	④高校3年生若尾会入会の案内及び新役員選出について依頼	⑤体育祭出席	⑥若尾会奨学金授与選考結果承認
	⑦会報第10号発行	⑧若尾会定期総会	⑨洗足祭出席
	⑩墓前祭出席	⑪第20回洗足学園ジュニア音楽コンクール後援	⑫生涯学習による「日本の伝統(雅楽の調べと舞)と加賀料理を楽しむ会」
	⑬2016年度卒業生の成人を祝う会	⑭2006年度卒業生の三十歳の会	⑮卒業式予行出席記念品贈呈 及び 挨拶
			⑯卒業式出席

2018年度 若尾会決算報告

収入の部				
科目	予算	決算	差異	摘要
前年度繰越金	5,295,611	5,295,611	0	
新入会費	1,190,000	1,190,000	0	2017年度卒業生235名×5000円
若尾会奨学金会費	1,190,000	1,190,000	0	2017年度卒業生235名×5000円
総会会費	10,000	9,000	1,000	18名×500円
銀行利息	50	43	7	
雑収入	600,000	501,080	98,920	維持会費250口
合計	8,285,661	8,185,734	99,927	

支出の部				
科目	予算	決算	差異	摘要
印刷費	2,000,000	1,863,777	136,223	会報、名簿管理、封筒印刷他
総会費	5,000	8,045	▲3,045	総会に関する諸費用
会議費	0	0	0	理事会、会計監査他
通信費	260,000	125,873	134,127	郵送料金、ホームページ他
交通費	55,000	38,756	16,244	理事会、会計監査他学校行事出席他
慶弔費	90,000	116,255	▲26,255	学校行事祝金、香典、ジュニアコンクール関係
卒業生記念品費	188,000	186,964	1,036	印鑑代
事務用品費	1,000	0	1,000	熨斗袋他
備品費	0	0	0	
雑費	120,000	16,167	103,833	学校への年賀他
若尾会奨学金費	1,200,000	1,200,000	0	奨学金120,000円×10名
予備費	4,366,661	4,629,897	▲263,236	
合計	8,285,661	8,185,734	99,927	

維持会費のお礼と継続のお願い

日頃より「維持会費のお願い」に対し、皆様のご理解とご厚情を賜っておりますこと、心より感謝御礼申し上げます。若尾会の継続と発展、又、2024年の創立百周年に向けて、引き続き、維持会費のご理解とご支援を頂きますようお願い申し上げます。

維持会費	一口 1,000円
振込先	ゆうちょ銀行〇二九(ゼロニキユウ)店 【当座】0103298 【口座名】洗足学園高等学校同窓会若尾会

Information 若尾会インフォメーション

- 住所・姓名などの変更は 若尾会ホームページ よりお手続きください。 → <http://www.int-acc.or.jp/wakaokai/>
- 同窓会開催について 久しぶりの旧友や先生との再会をしてみませんか？ 同窓会開催に限り、卒業生名簿をもとに案内状発送業務を若尾会にて代行をしております。発送料金等を含め有料となりますので、詳しくは お問い合わせください。

2018年度 大学合格者数

国公立大学			海外大学			医学部医学科		
大学名	合計	現役	大学名	合計	現役	大学名	合計	現役
東京大	7	6	Boston University	1	1	東京医科歯科大	1	1
京都大	4	3	Carleton College	1	1	千葉大	1	1
一橋大	7	7	DePauw University	3	3	信州大	1	1
東京工業大	7	7	Grinnell College	2	2	福島県立医科大	1	1
北海道大	2	2	Kalamazoo College	2	2	国際医療福祉大	5	5
東北大	1	1	Knox College	1	1	北里大	2	2
大阪大	1		Middlebury College	1	1	杏林大	2	2
九州大	1		Swarthmore College	1	1	慶應義塾大	1	1
筑波大	1	1	University of Toronto	1	1	順天堂大	3	3
群馬大	1	1	Wesleyan College	1	1	昭和大学	4	4
千葉大	4	4	Yale-NUS	1	1	聖マリアンナ医科大	3	2
お茶の水女子大	1	1	University of California Davis	1	1	帝京大	2	2
電気通信大	1	1				東海大	2	1
東京医科歯科大	2	2	海外大学 計	16	16	東京医科大	1	1
東京外国語大	3	3				東京慈恵会医科大	3	3
東京海洋大	2	1	私立大学			東京女子医科大	1	1
東京学芸大	1		大学名	合計	現役	東邦大	4	4
東京農工大	3	3	慶應義塾大	87	86	日本大	5	4
横浜国立大	8	8	早稲田大	94	92	日本医科大	3	3
信州大	2	2	上智大	41	39	医学部医学科 計	45	42
神戸大	1	1	東京理科大	37	33			
国際教養大	1		慶早上理 計	259	250			
福島県立医科大	1	1	明治大	121	117			
首都大東京	2	1	青山学院大	51	50			
横浜市立大	5	3	立教大	47	47			
防衛医科大学校	1	1	中央大	46	44			
国立看護大学校	1	1	法政大	52	48			
国公立大学 計	71	61	MARCH 計	317	306			

全国的に2019年度入試は前年度入試の影響が色濃く出た入試となりました。昨年度の入試では定員管理厳格化に対応するため、私立大一般入試の合格者数が大きく減少し、文系学部を中心に難化しました。今春の入試では、さらなる合格者数の絞り込みを警戒して難関私立大の文系学部で志願者が減少したほか、大学入試センター試験の平均点上昇にもかかわらず、国立大でも難関大で志願者が減少するなど、国私を問わず安全志向が顕著でした。

そんな中でも、洗足生は、それぞれ目標達成のために最後まで挑戦し続けました。東大、一橋大、東工大へは、今年も合わせて20名以上が合格しました。さらに、医学部医学科への合格者は延べ45名で、そのうち現役合格者は延べ42名と、洗足史上最多を記録しました。私立大においても、難関大を中心に合格者数を伸ばすことができました。

難化が予想された入試でしたが、それでも自分の意志を貫き挑戦し続けた卒業生の姿は、在校生の大きな励みになったことと思います。

校務主任（学力形成）平井 健

卒業生の皆様へ 母校の教壇に立ってみませんか？ ～キャリアプログラム講師のお願い～

学園では中学2年生から高校2年生を対象に、キャリアプログラムを実施しています。社会人から具体的なお話を伺い、自分が社会に出た時のことをイメージして、将来社会や他人にどのように貢献できるかを考える力を養います。そこで、在校生にとって身近な卒業生の皆様に、キャリアプログラムの講師をお願いできないかと考えております。社会で活躍されている先輩がたのお話は、生徒にとって興味深く、心に届くものと思っています。どうぞ母校にお力添えいただきたく、お願い申し上げます。

なお、キャリアプログラムにご協力いただける方は ao@jh-staff.senzoku.ac.jp までご連絡ください。

末筆になりましたが、卒業生の皆様のご多幸を心よりお祈り申し上げます。 校務主任（人間形成）矢野 裕子